

2025年度 共通テスト 持ち歩きチェックシート

● 持ち物の確認 ～忘れ物がないよう前日と当日に確認をしよう

持ち物(用意できたら右欄にチェック)		前日	当日
1	受験票・写真票		
2	「受験上の注意」(大学入試センターより受験票と同送)		
3	学生(身分証明)証		
4	黒鉛筆(H、F、HBに限る)		
5	プラスチック製消しゴム		
6	鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)		
7	時計(アラームを消すこと)		
8	携帯電話(アラームを消すこと)		
9	交通費(少し余分に)		
10	試験場までの地図		
11	お弁当・飲み物		
12	ハンカチ・ティッシュ		
13	受験票に「上履き持参」とあれば上履きと下履きを入れる袋		
14	参考書		
15	(必要に応じて)マスク		
16	(必要に応じて)眼鏡・目薬		
17	(必要に応じて)カイロ・ひざ掛け・座布団・上着		
18	(必要に応じて)雨具		
19	(必要に応じて)リラックスグッズ(お菓子など)		
20			

● 交通アクセス・時刻表の確認 ～試験場までの経路をメモしておこう

自宅(宿泊先)

↓ () 分

() 駅・バス停 (: 発)

↓

() 駅・バス停 (: 着 → : 発)

↓

() 駅・バス停 (: 着)

↓ () 分

試験場着

※電車の遅延などで遅刻しそうになったら、受験票に記載されている「問合せ大学」へ連絡しよう。

● 試験中の心得 ～落ち着いて、持てる力を出し切ろう

① トイレは早めに行っておこう

② 携帯・時計のアラーム解除を忘れていないか確認しておこう

③ 試験監督の指示に落ち着いて耳を傾けよう

④ 受験番号や氏名、解答科目などの記入・マークミスや洩れに気をつけよう

⑤ 解答は問題冊子に忘れずに転記しよう

出願校の検討には、自己採点した得点が欠かせません。問題冊子に自分の解答を転記しておきましょう。転記ミスや転記洩れにも気をつけましょう。

⑥ 「地歴・公民」「理科」を2科目受験する場合、解答科目の解答順に気をつけよう

志望校の指定科目・成績利用方法を踏まえて、第1解答科目、第2解答科目で受験する科目は、原則試験前に決めておきましょう。

● トラブル発生! こんなときどうする?

① 試験直前に受験票を紛失した! 忘れた! ➡ 受験する試験場の「試験場本部」に行こう

試験直前に受験票・写真票を紛失してしまった場合(再発行が間に合わない場合)、早めに試験場に行き「仮受験票」「仮写真票」の申請をすれば受験できます。

当日、自宅や宿泊先に受験票を忘れた場合も同様です。取りに戻ると遅刻してしまうかもしれません。とりあえず試験場に向かいましょう。

② 遅刻しそう! (遅刻してしまった!) ➡ とにかく試験場へ

試験開始時刻後20分以内なら入室が認められます。あきらめずに試験場に向かいましょう。ただし、英語リスニングは、試験開始時刻(17時20分)までに入室していないと受験できません。また、「地歴・公民」「理科」を2科目受験する場合、第1解答科目開始後20分以内に入室しないと、後半の第2解答科目も受験できません。時間に余裕を持って試験場に向かうことが大切です。

なお、悪天候などにより公共交通機関に遅れが生じた場合、試験時間の繰り下げを行うことがあります。このような場合は、「問合せ大学」に電話して指示を仰ぎましょう(電話番号は受験票に記載されています)。

③ 体調を崩し、受験できなかった ➡ 追試験を申請しよう

病気や負傷、その他やむを得ない理由で試験を受験できなかった場合、追試験が受けられます。追試験は2025年1月25日(土)・26日(日)に全国4会場(東京農工大学、東京外国語大学、大阪教育大学、大阪大学)で実施されます。

追試験の受験には、受験票に記載されている「問合せ大学」に電話で申請し、許可を受けることが必要です。申請受付期間・申請方法は、受験票と同封されてきた「受験上の注意」に記載されています。追試験の申請が必要になった場合は、そちらで詳細を確認しましょう。

追試験の受験許可の単位は原則として2日分または1日分の教科・科目です。1日目または2日目において、1つの教科・科目でも受験した場合は、体調不良等の申出をしたのちの教科・科目の受験が認められます。追試験の対象となるルールについては、「受験上の注意」で詳しく記載されています。

河合塾が提供する大学入試情報サイト

Kei-Net
www.keinet.ne.jp



2025年度共通テスト特集

1月18日(土)～順次公開
共通テスト正解・配点
分析コメント

1月22日(水)【午後予定】
大学別ボーダーライン一覧
バンザイシステム

